

大阪市水道事業管理規程第23号

大阪市水道局情報セキュリティ管理規程の一部を改正する規程

大阪市水道局情報セキュリティ管理規程（平成23年大阪市水道事業管理規程第1号）の一部を次のように改正する。

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に対応して掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定（以下「対象規定」という。）の改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、改正前欄に掲げる対象規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものを削り、改正後欄に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものを加える。

改正後	改正前
目次	目次
〔第1章 略〕	〔第1章 同左〕
第2章 情報セキュリティに係る体制（第4条― <u>第6条</u> ）	第2章 情報セキュリティに係る体制（第4条― <u>第7条</u> ）
第3章 情報セキュリティ対策（ <u>第7条</u> ―12条）	第3章 情報セキュリティ対策（ <u>第8条</u> ―第12条）
第4章 検証及び見直し（第13条・ <u>第14条</u> ）	第4章 検証及び見直し（第13条― <u>第14条</u> ）
〔第5章・第6章 略〕	〔第5章・第6章 同左〕
附則 （趣旨）	附則 （趣旨）
第1条 この規程は、 <u>大阪市水道局情報システム等の整備及び運用に関する規程（令和7年大阪市水道事業管理規程第22号。以下「情報システム等整備・運用規程」という。）</u> 第11条に規定する情報システム及び情報システムにより処理される情報、 <u>情報システム等整備・運用規程第15条及び第17</u>	第1条 この規程は、 <u>大阪市水道局ICT計画の推進に関する規程（平成28年大阪市水道事業管理規程第33号。以下「推進規程」という。）</u> 第22条に規定する情報システム及び情報システムにより処理される情報、 <u>推進規程第28条及び第30条第3項</u> に規定する情報通信ネットワーク及び情報通信ネッ

条第3項に規定する情報通信ネットワーク及び情報通信ネットワークにより伝達される情報その他の大阪市水道局（以下「局」という。）が保有する情報資産に関する情報セキュリティの確保のために必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

[(1)・(2) 略]

(3) 情報セキュリティポリシー この規程及び第8条に規定する情報セキュリティ対策基準をいう。

[(4)～(7) 略]

(8) 情報システム 情報システム等整備・運用規程第2条第1号に規定する情報システムをいう。

(9) 情報通信ネットワーク 情報システム等整備・運用規程第2条第2号に規定する情報通信ネットワークをいう。

(10) 課等 情報システム等整備・運用規程第2条第3号に規定する課等をいう。

(11) 課長等 情報システム等整備・運用規程第2条第4号に規定する課長等をいう。

（職員の責務）

第3条 職員は、情報セキュリティの重要性を十分に認識し、情報セキュリティポリシーを遵守するとともに、大阪市個人情報の保護に関する法律の施行等に関する条例（令和5年大阪市条例第5号）その他の関

トワークにより伝達される情報その他大阪
市水道局（以下「局」という。）が保有する情報資産に関する情報セキュリティの確保のために必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 [同左]

[(1)・(2) 同左]

(3) 情報セキュリティポリシー この規程及び第9条に規定する情報セキュリティ対策基準をいう。

[(4)～(7) 同左]

(8) 情報システム 推進規程第2条第2号に規定する情報システムをいう。

(9) 情報通信ネットワーク 推進規程第2条第3号に規定する情報通信ネットワークをいう。

(10) 課等 推進規程第2条第4号に規定する課等をいう。

(11) 課長等 推進規程第2条第5号に規定する課長等をいう。

（職員の責務）

第3条 職員は、情報セキュリティの重要性を十分に認識し、情報セキュリティポリシーを遵守するとともに、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）その他の関連する法令等を遵守し、情報資産を適

連する法令等を遵守し、情報資産を適切に管理しなければならない。 (統括情報セキュリティ責任者の設置等) 第5条 [略] [2 略] 3 <u>統括情報セキュリティ責任者は、最高情報セキュリティ責任者の命を受けて、情報セキュリティ対策の実施その他の情報セキュリティに関する事務を掌理する。</u> [4 略] (情報セキュリティ責任者の設置等) 第6条 [略] [2 略] 3 <u>情報セキュリティ責任者は、最高情報セキュリティ責任者の命を受けて、その所管する事務に係る情報資産に関し情報セキュリティ対策が適切かつ確実に実施されるよう、必要な措置を講じなければならない。</u> [削る] (情報資産の分類) <u>第7条</u> 情報セキュリティ責任者は、<u>その所管する事務</u>に係る情報資産をその内容に応じて分類し、重要度に応じた情報セキュリ	切に管理しなければならない。 (統括情報セキュリティ責任者の設置等) 第5条 [同左] [2 同左] 3 <u>統括情報セキュリティ責任者は、情報セキュリティ対策の実施その他の情報セキュリティに関する事務を掌理する。</u> [4 同左] (情報セキュリティ責任者の設置等) 第6条 [同左] [2 同左] 3 <u>情報セキュリティ責任者は、自らが所管する事務</u>に係る情報資産に関し情報セキュリティ対策が適切かつ確実に実施されるよう、必要な措置を講じなければならない。 (情報セキュリティに係る総合調整等) <u>第7条</u> 最高情報セキュリティ責任者は、推進規程第7条に規定するICT計画推進委員会において、情報セキュリティポリシーの遵守及び情報セキュリティ対策の実施に関する総合調整を行う。 2 最高情報セキュリティ責任者は、推進規程第6条に規定するICT計画推進連絡調整会議において、情報セキュリティについて課長等相互間の連絡調整を行う。 (情報資産の分類) <u>第8条</u> 情報セキュリティ責任者は、<u>自らが所管する事務</u>に係る情報資産をその内容に応じて分類し、重要度に応じた情報セキュ
--	--

ティ対策を実施しなければならない。
(情報セキュリティ対策基準の作成)

第8条 [略]

(情報セキュリティ実施手順の作成)

第9条 情報セキュリティ責任者は、その所管する情報システム又は情報通信ネットワークにおける情報セキュリティ対策の実施に関し必要となる事項を定めるため、情報セキュリティ実施手順を作成し、最高情報セキュリティ責任者の承認を得なければならない。

(ソフトウェアライセンスの管理)

第10条 [略]

(事故発生時の措置)

第12条 情報セキュリティ責任者は、その所管する事務に係る情報資産に漏えい、滅失、き損、改ざん等の事故が発生したときは、直ちに、その状況を調査するとともに、当該事故の内容を統括情報セキュリティ責任者に報告しなければならない。

[2・3 略]

(情報セキュリティ検査の実施)

第13条 最高情報セキュリティ責任者は、局において情報セキュリティポリシーが遵守され、情報セキュリティ対策が適切かつ確実に実施されているかどうかを検証するため、定期的に検査を実施しなければならない。

2 最高情報セキュリティ責任者は、前項に規定する検査のほか、必要と認めるときは随時に検査を行うことができる。

3 最高情報セキュリティ責任者は、前2項

リティ対策を実施しなければならない。
(情報セキュリティ対策基準の作成)

第9条 [同左]

(情報セキュリティ実施手順の作成)

第10条 情報セキュリティ責任者は、自らが所管する情報システム又は情報通信ネットワークにおける情報セキュリティ対策の実施に関し必要となる事項を定めるため、情報セキュリティ実施手順を作成し、最高情報セキュリティ責任者の承認を得なければならない。

(ソフトウェアライセンスの管理)

第10条の2 [同左]

(事故発生時の措置)

第12条 情報セキュリティ責任者は、自らが所管する事務に係る情報資産に漏えい、滅失、き損、改ざん等の事故が発生したときは、直ちに、その状況を調査するとともに、当該事故の内容を統括情報セキュリティ責任者に報告しなければならない。

[2・3 同左]

(情報セキュリティ監査の実施)

第13条 最高情報セキュリティ責任者は、情報システム及び情報通信ネットワークの情報セキュリティ対策について、評価・点検を行うため定期的に情報セキュリティ監査を実施しなければならない。

[新設]

[新設]

<u>に規定する検査（以下「情報セキュリティ検査」という。）の結果に基づき、必要があると認めるときは、講ずべき改善措置の内容を定めなければならない。</u> <u>4 情報セキュリティ責任者は、前項の規定により最高情報セキュリティ責任者が定める改善措置を適切かつ確実に実施しなければならない。</u> <u>5 情報セキュリティ検査の実施方法その他必要な事項は、最高情報セキュリティ責任者が定める。</u> (見直しの実施) 第14条 最高情報セキュリティ責任者は、情報セキュリティをめぐる情勢の動向、変化等を勘案し、及び<u>情報セキュリティ検査</u>の結果を踏まえ、適宜情報セキュリティポリシーに検討を加え、必要があると認めるときは、これを変更しなければならない。 [2 略]	[新設] <u>2 情報セキュリティ監査の実施方法その他必要な事項は、最高情報セキュリティ責任者が定める。</u> (見直しの実施) 第14条 最高情報セキュリティ責任者は、情報セキュリティをめぐる情勢の動向、変化等を勘案し、及び<u>情報セキュリティ監査</u>の結果を踏まえ、適宜情報セキュリティポリシーに検討を加え、必要があると認めるときは、これを変更しなければならない。 [2 同左]
備考 表中の[]の記載及び対象規定の二重傍線を付した標記部分を除く全体に付した傍線は注記である。	

附 則

この規程は、公布の日から施行する。